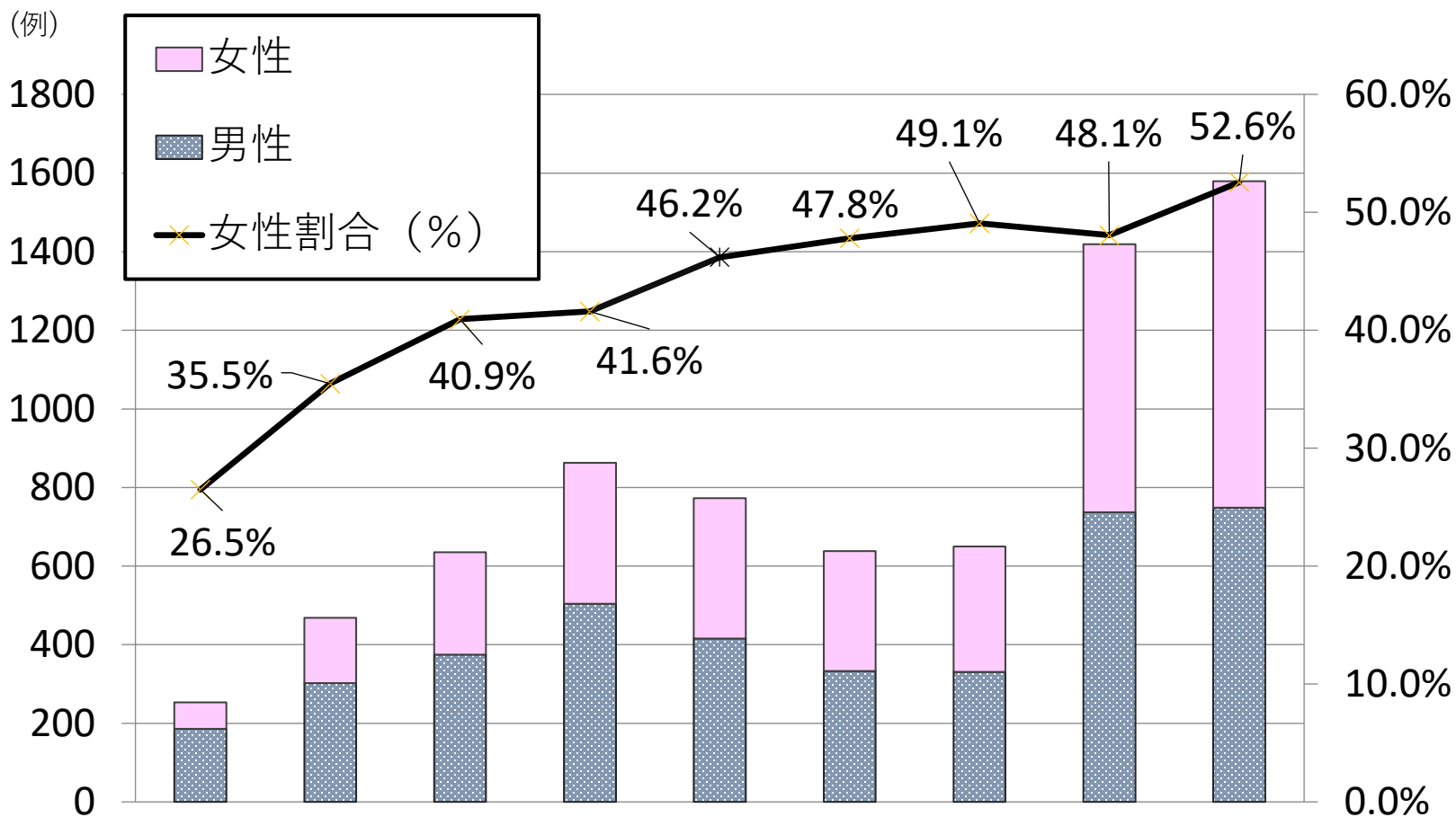


梅毒患者数の報告 (発生動向)

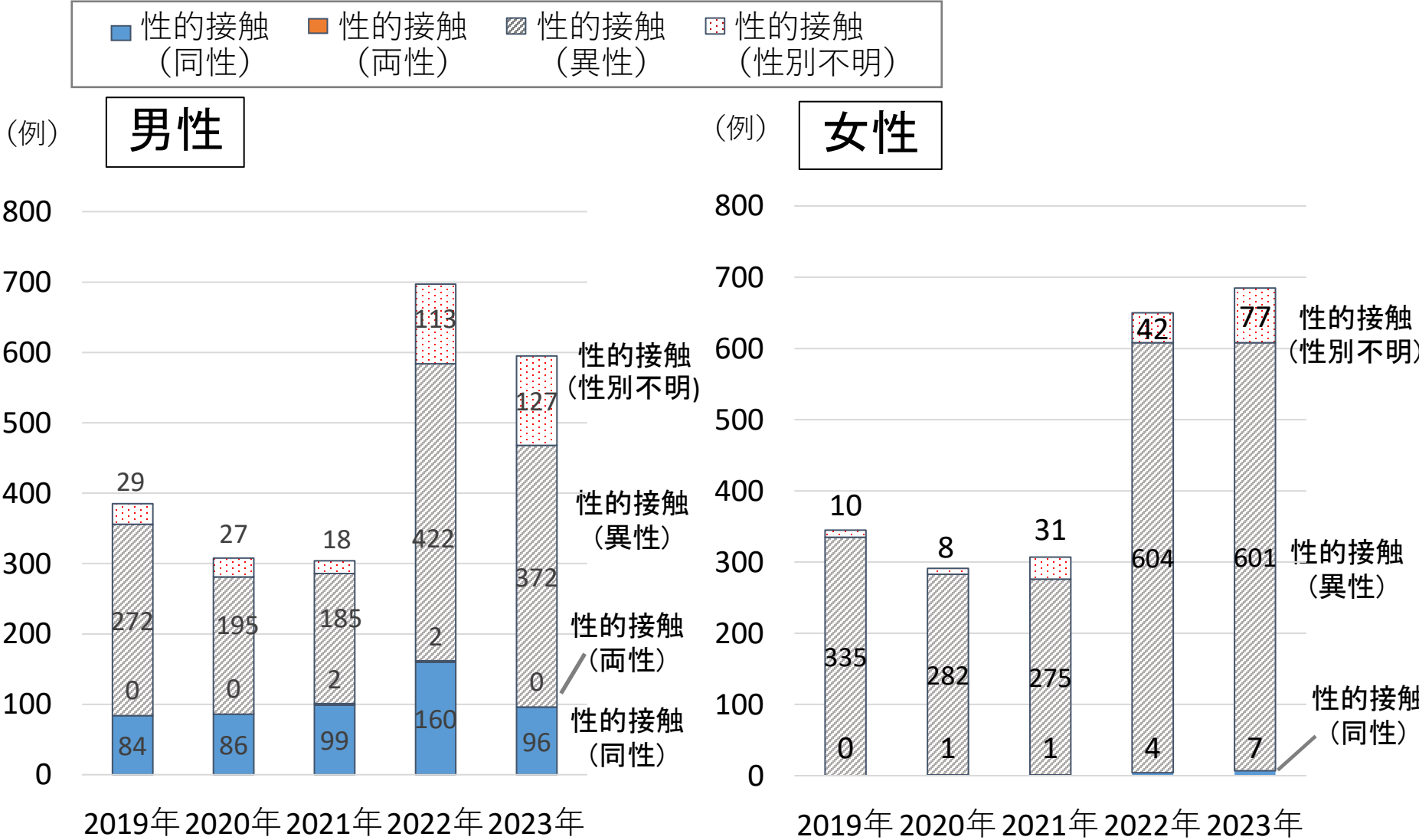
大阪市保健所感染症対策課

梅毒 男女別報告数推移



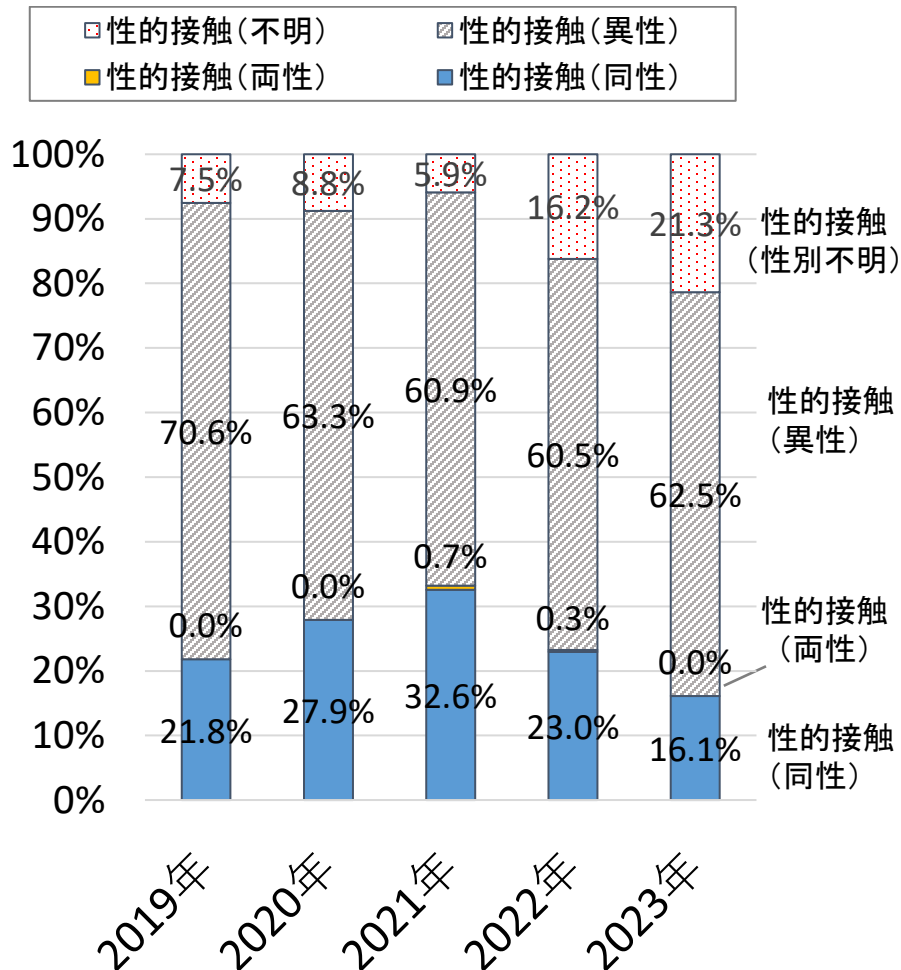
	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
男性	186	302	375	504	416	333	331	737	749
女性	67	166	260	359	357	305	319	682	830
計	253	468	635	863	773	638	650	1419	1579

感染経路別届出数(性的接触のみ)

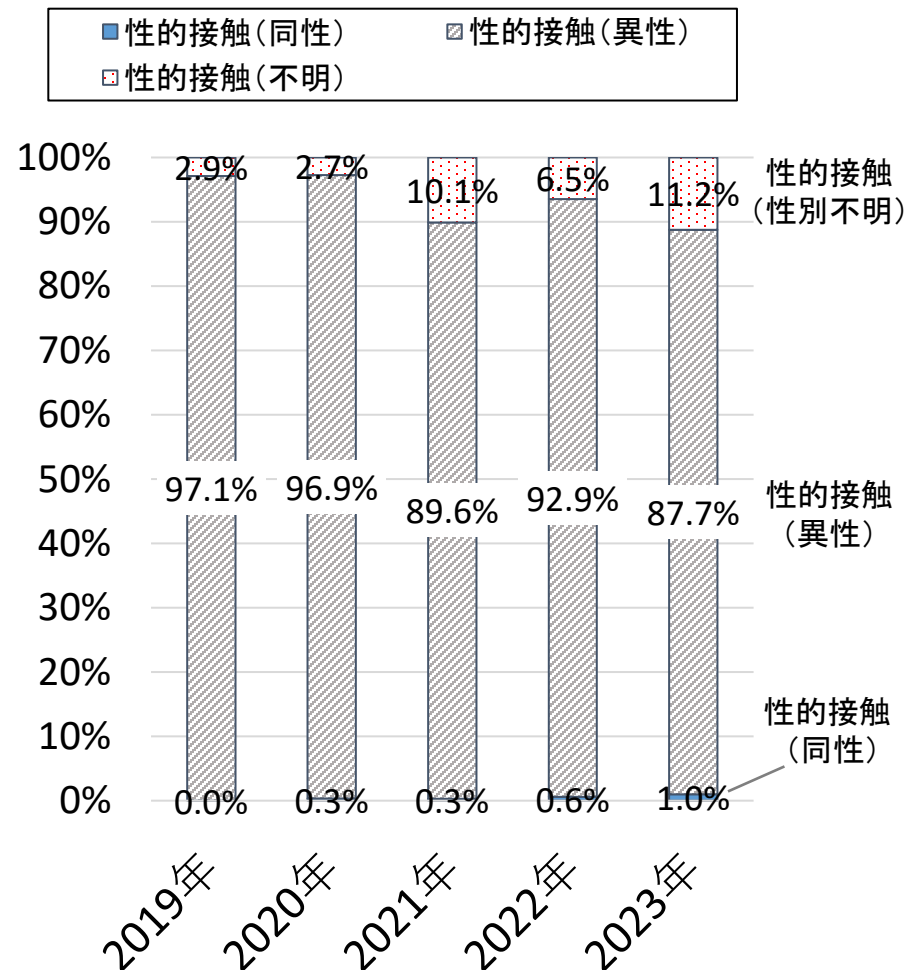


感染経路別届出割合推移(性的接触のみ)

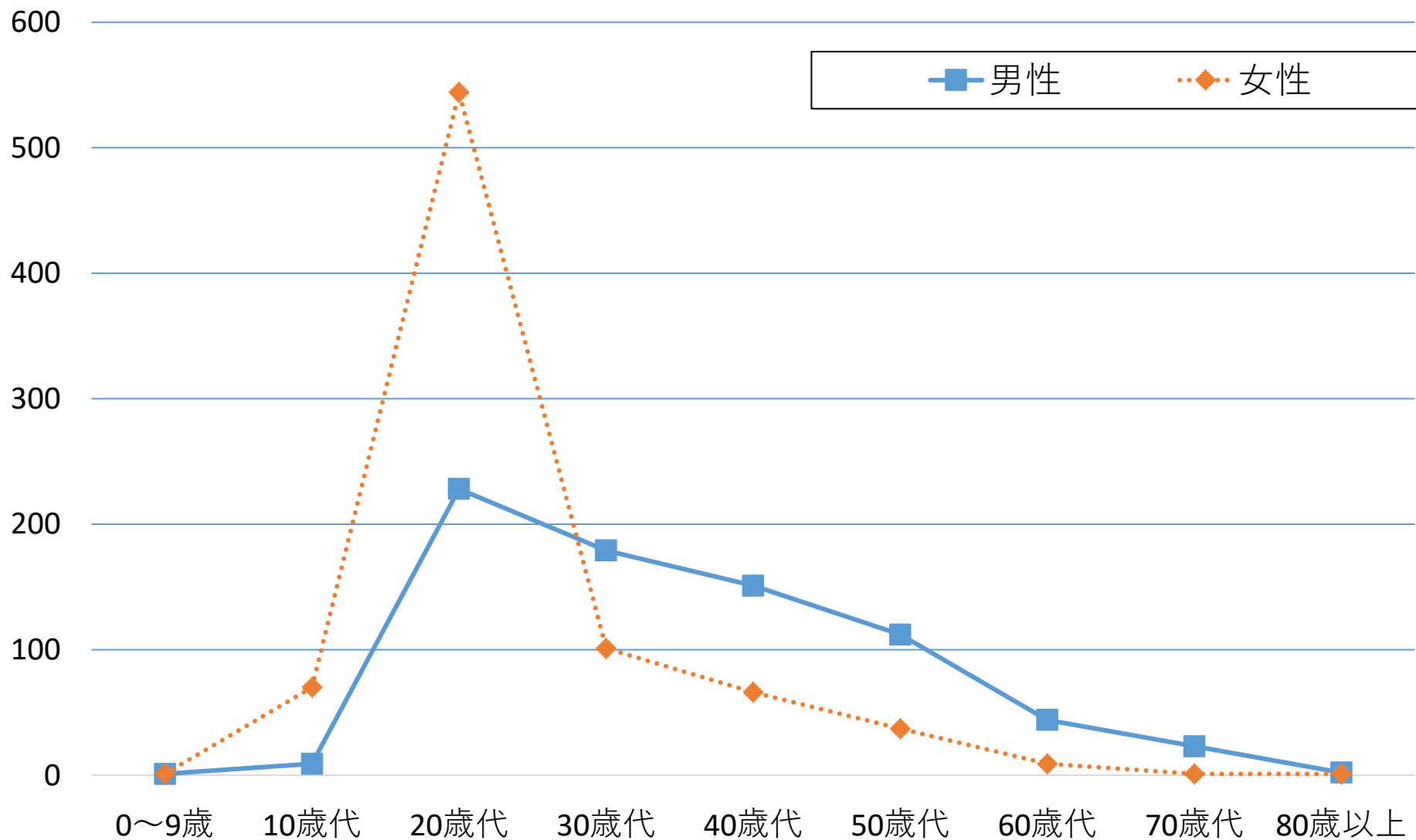
男性



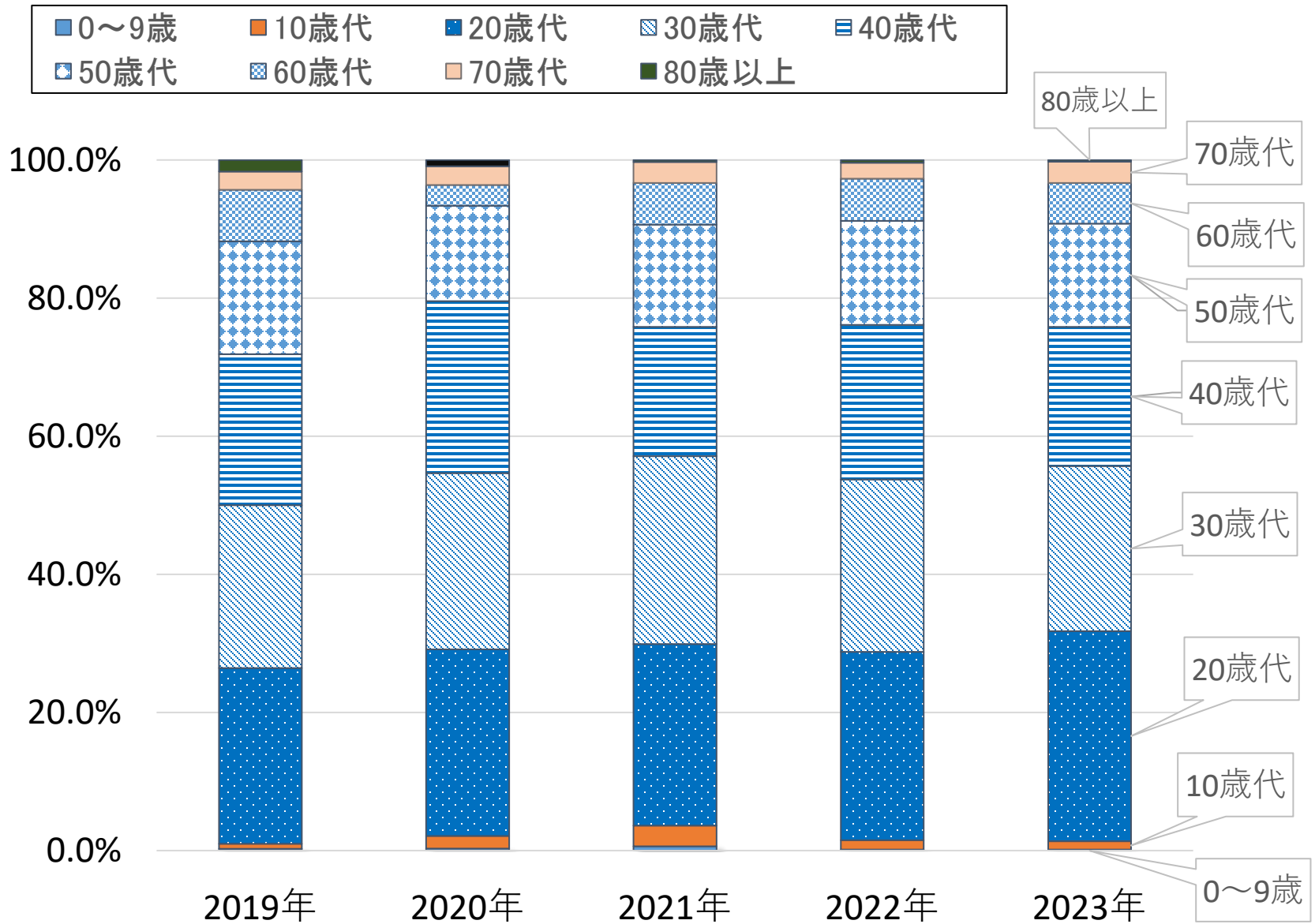
女性



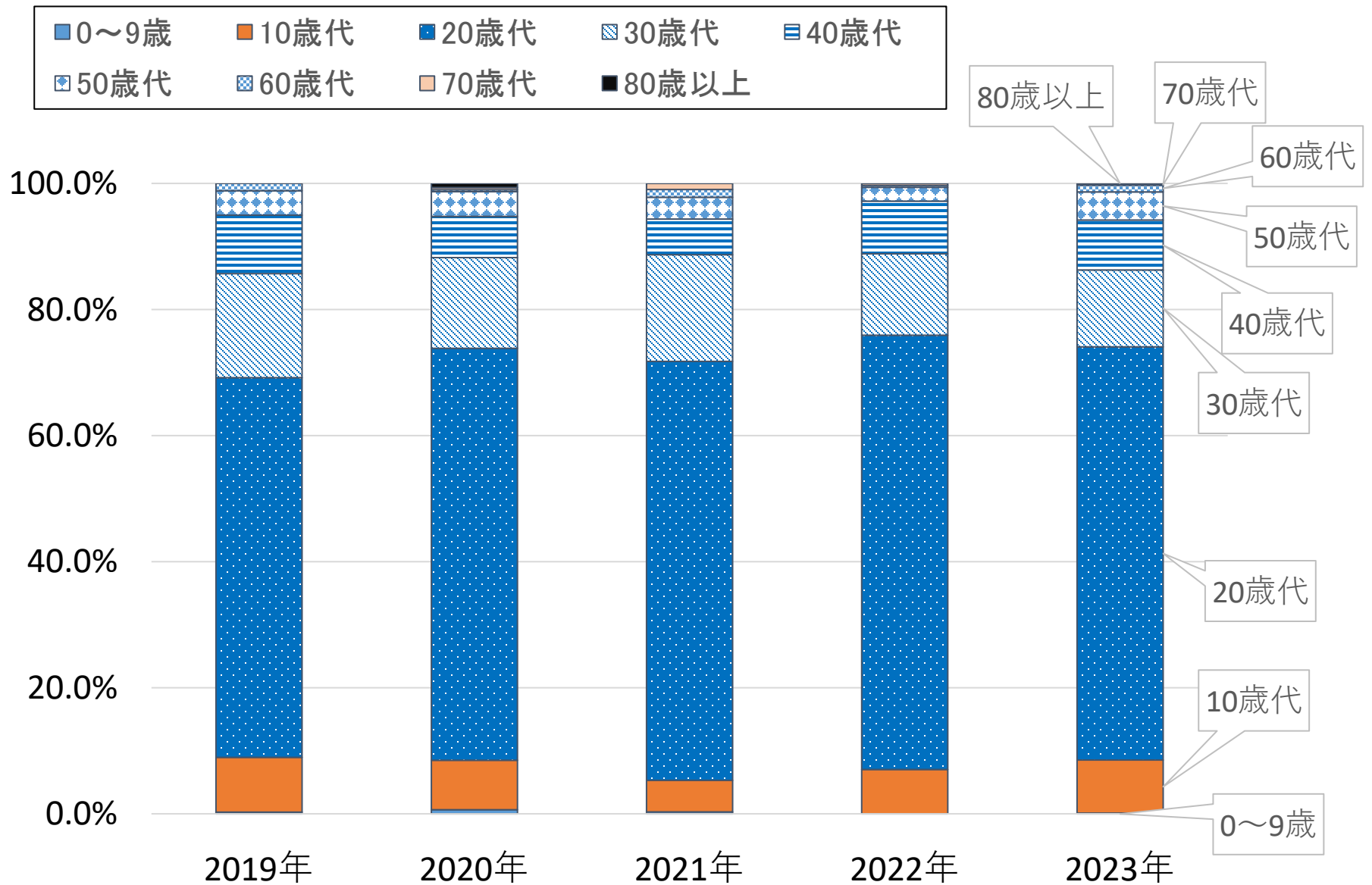
2023年 梅毒 男女別年齢別報告 (1579例)



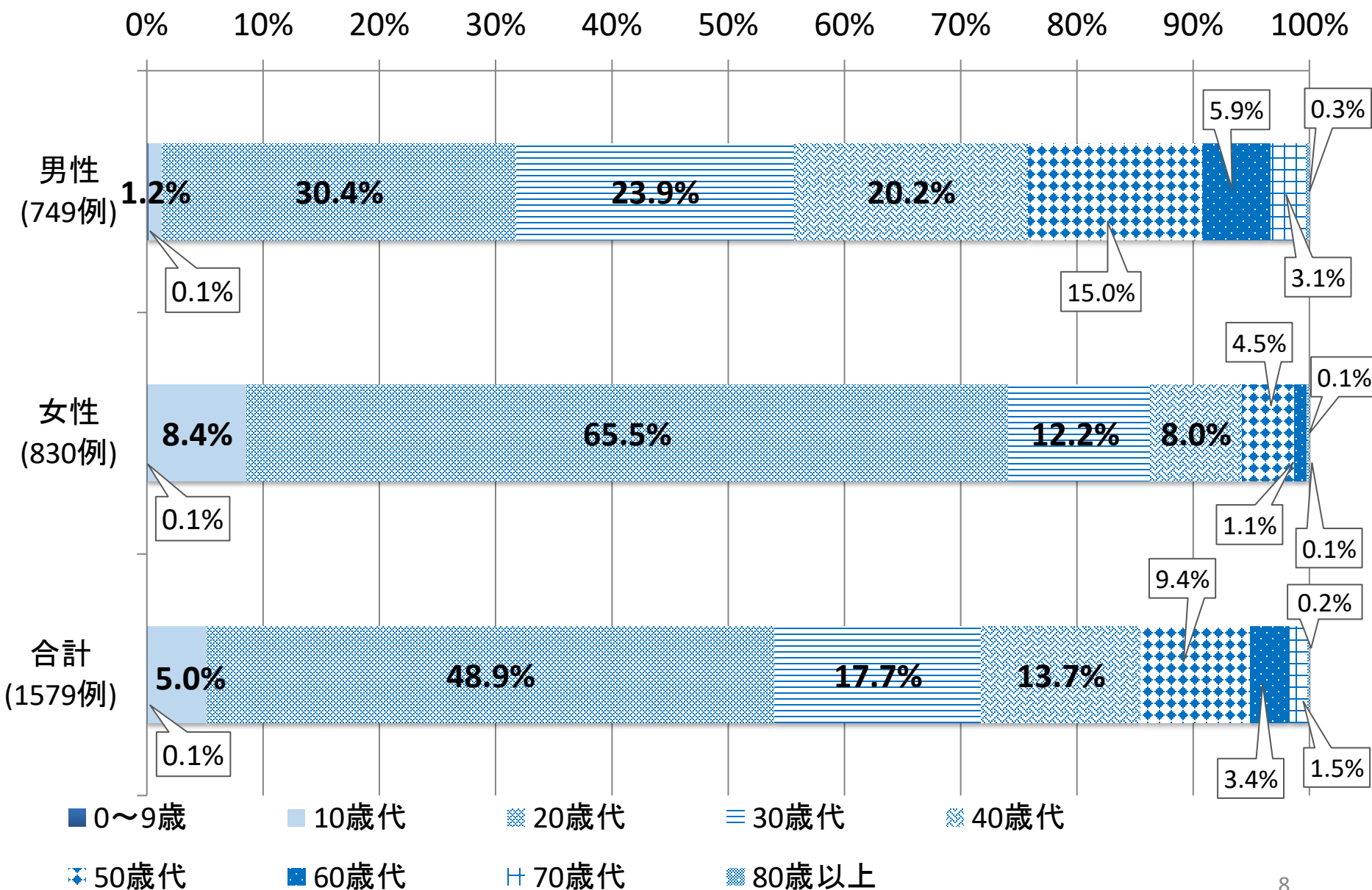
年代別届出数の割合推移(男性)



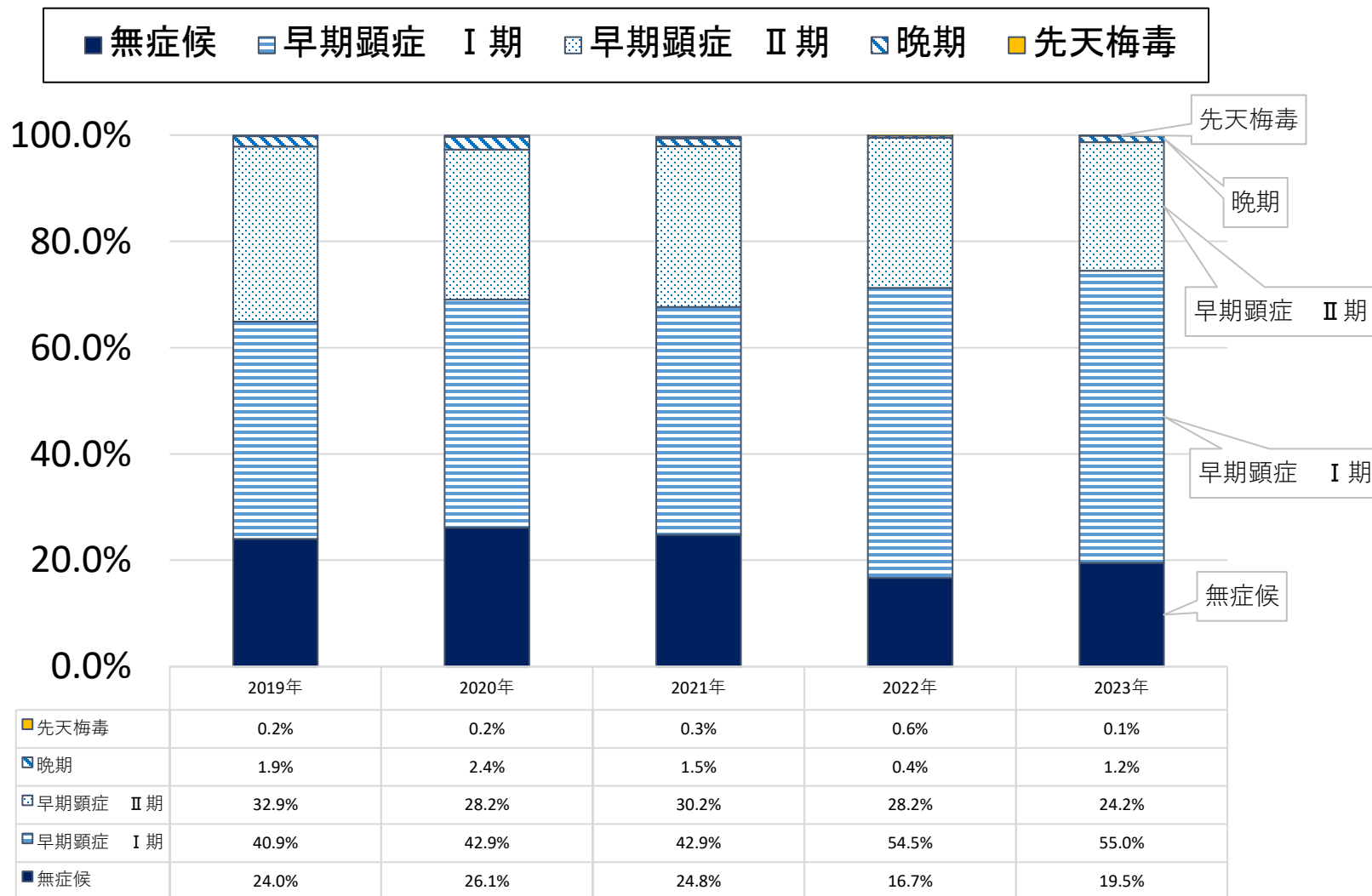
年代別届出数の割合推移(女性)



2023年 梅毒 男女別年代別割合

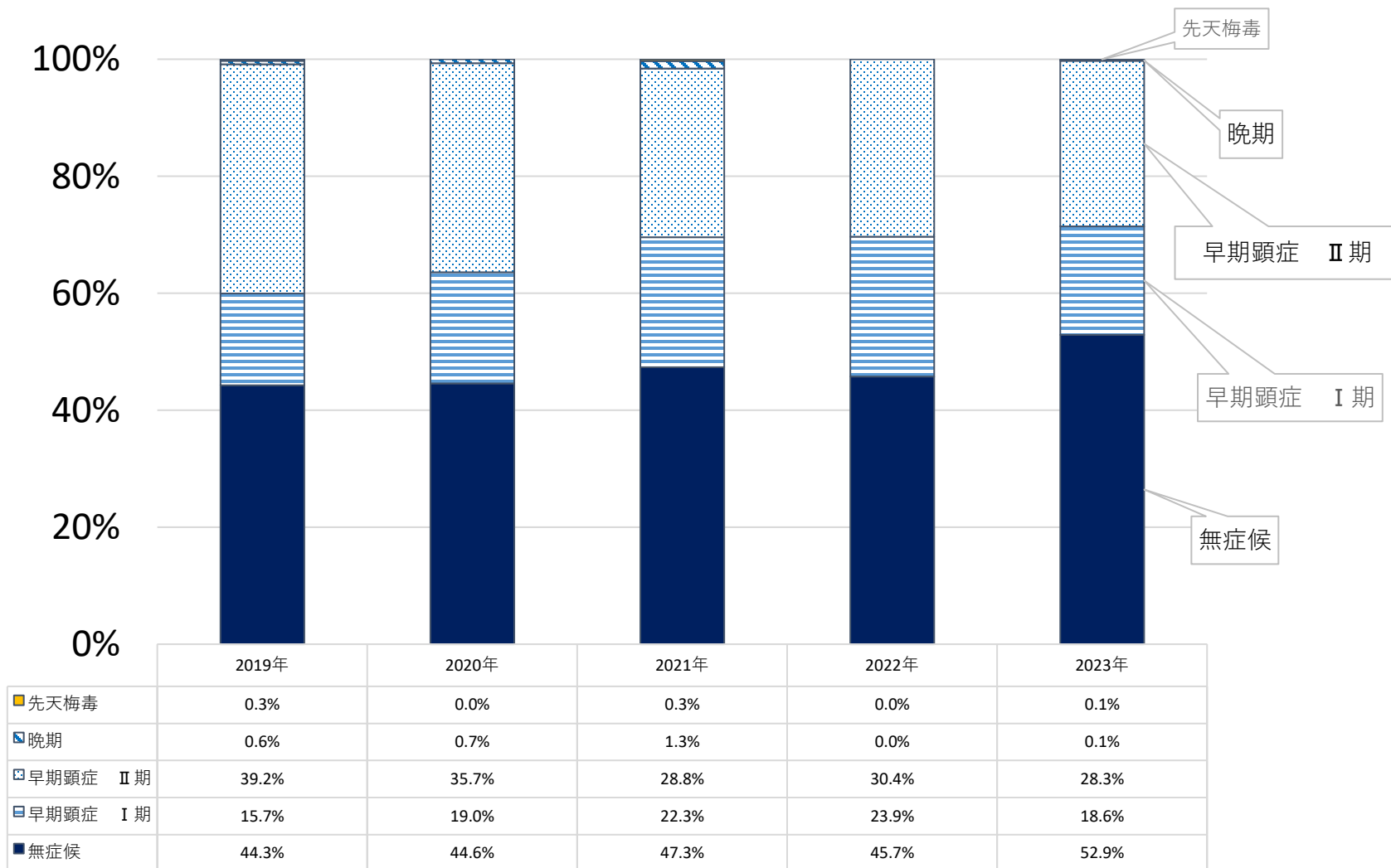


病期別届出数の割合推移(男性)

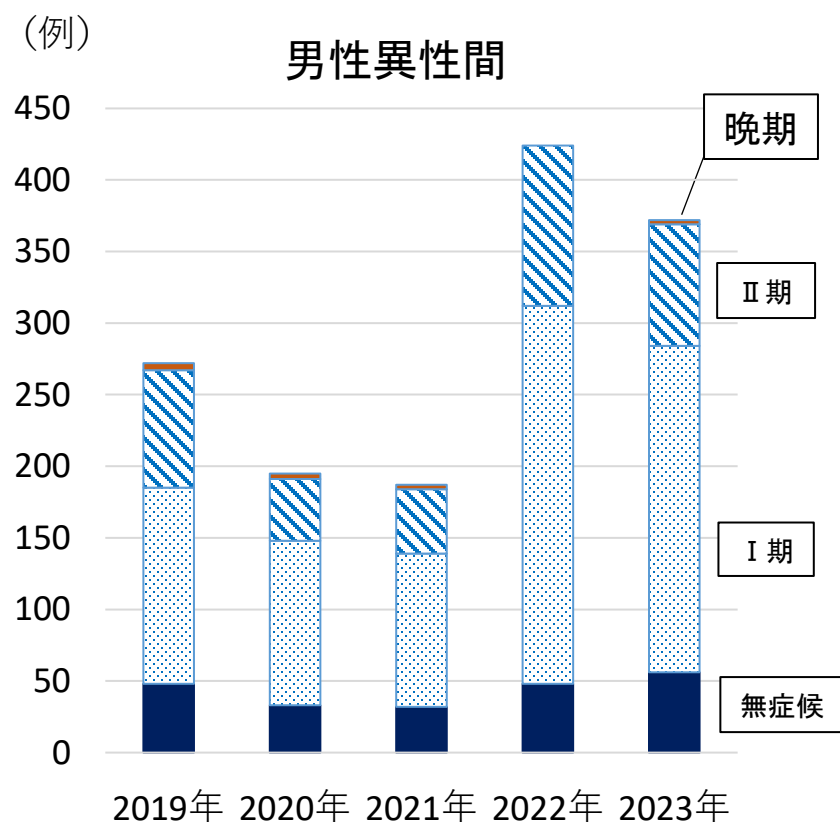
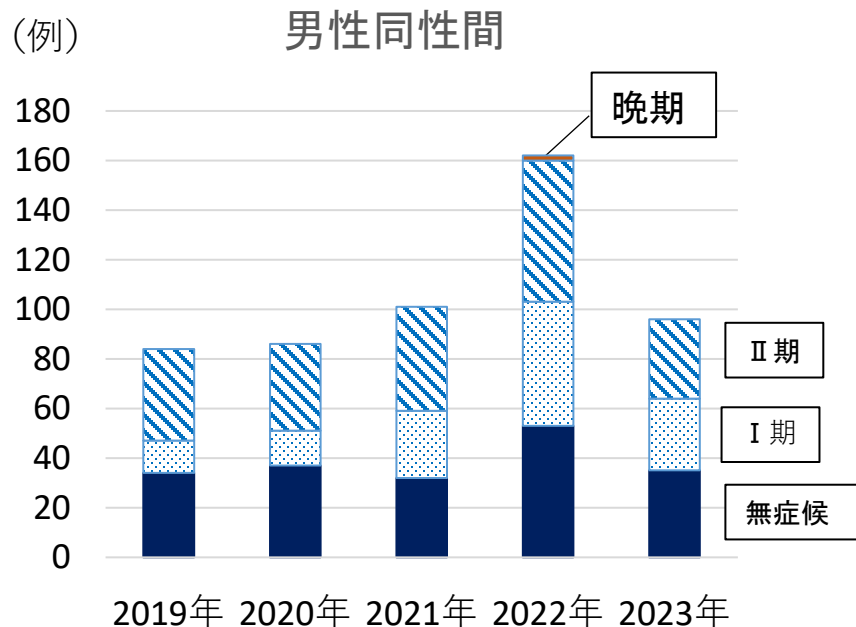


病期別届出数の割合推移(女性)

■ 無症候 ■ 早期顕症 I 期 ■ 早期顕症 II 期 ■ 晩期 ■ 先天梅毒



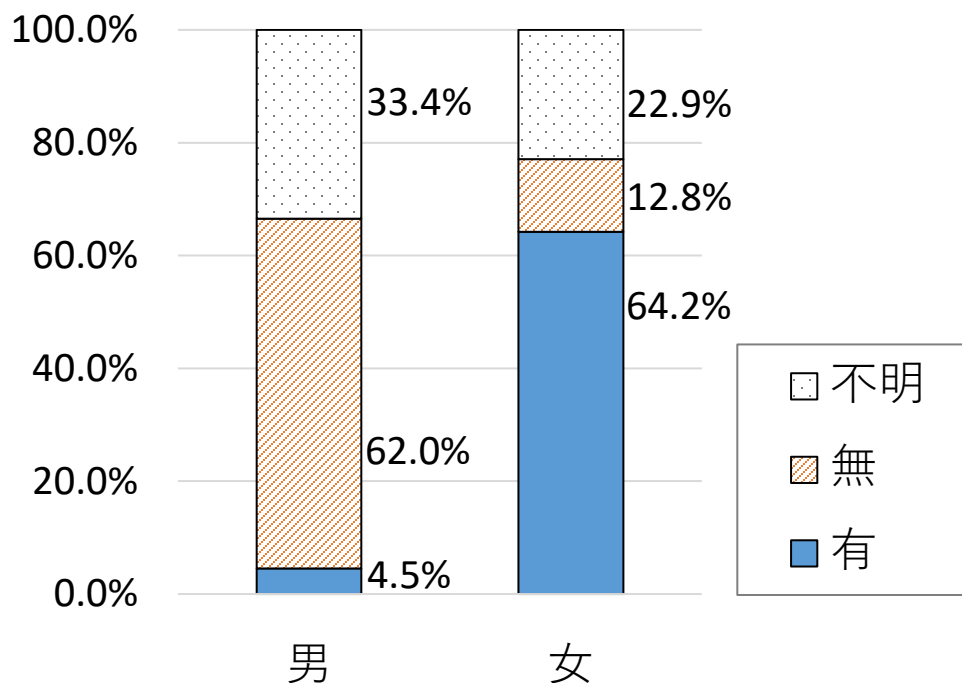
感染経路別病期の推移(男性)



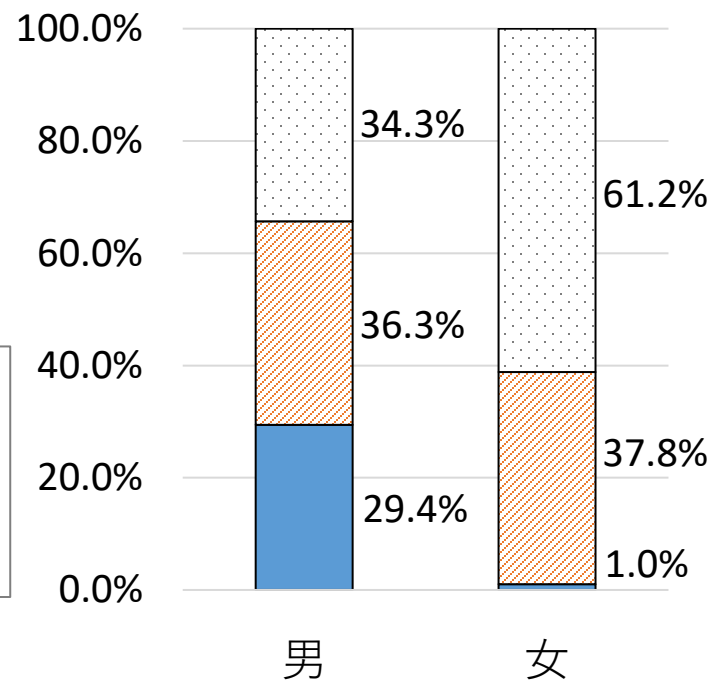
【性風俗産業】(直近6ヶ月以内の従事歴・利用歴)

2023年

従事歴



利用歴



「従事歴あり」は女性の64.2%

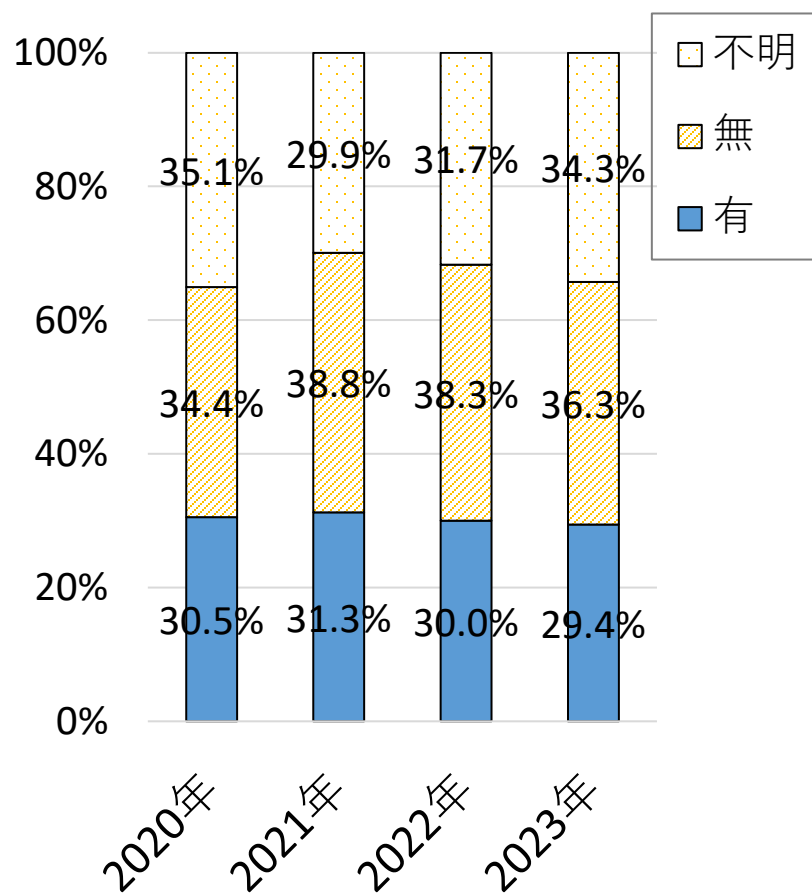
従事歴 (届出数)	有	無	不明
男	27	369	199
女	440	88	157

「利用歴あり」は男性の29.4%

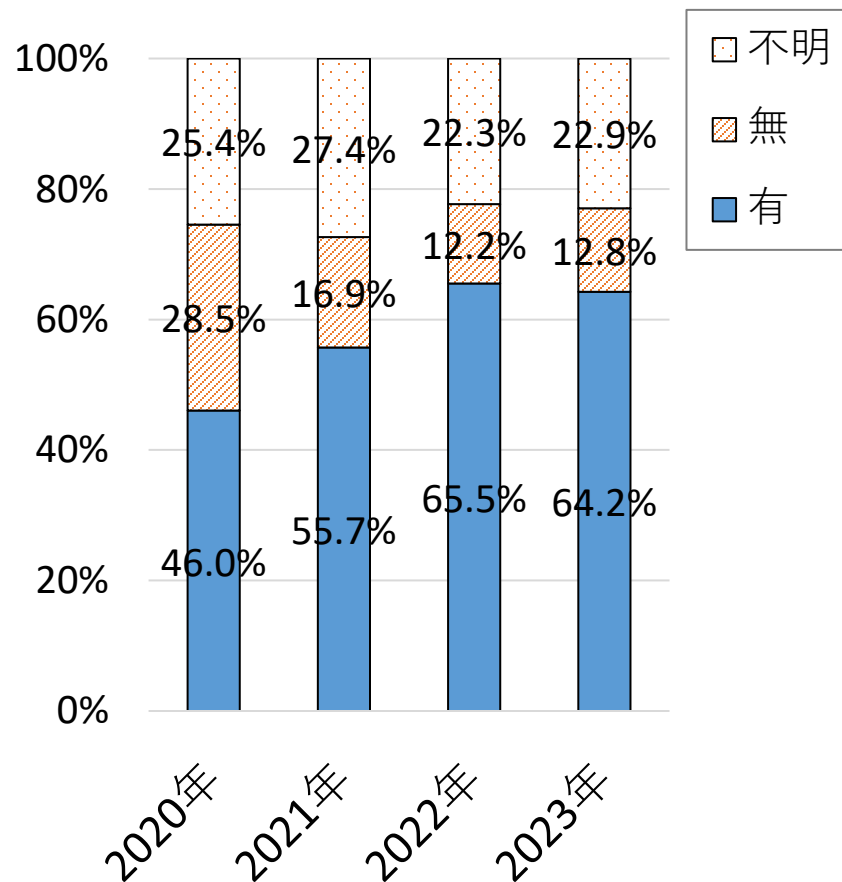
利用歴 (届出数)	有	無	不明
男	175	216	204
女	7	259	419

【性風俗産業】(直近6ヶ月以内の従事歴・利用歴) 男性・利用歴と女性・従事歴 報告数推移

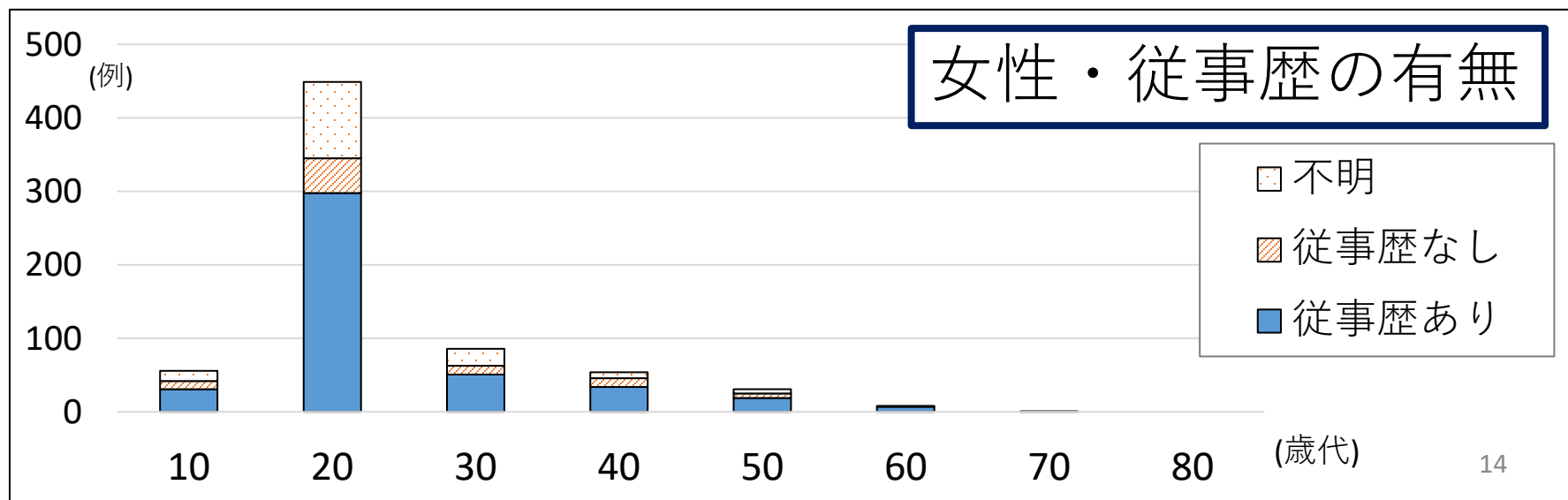
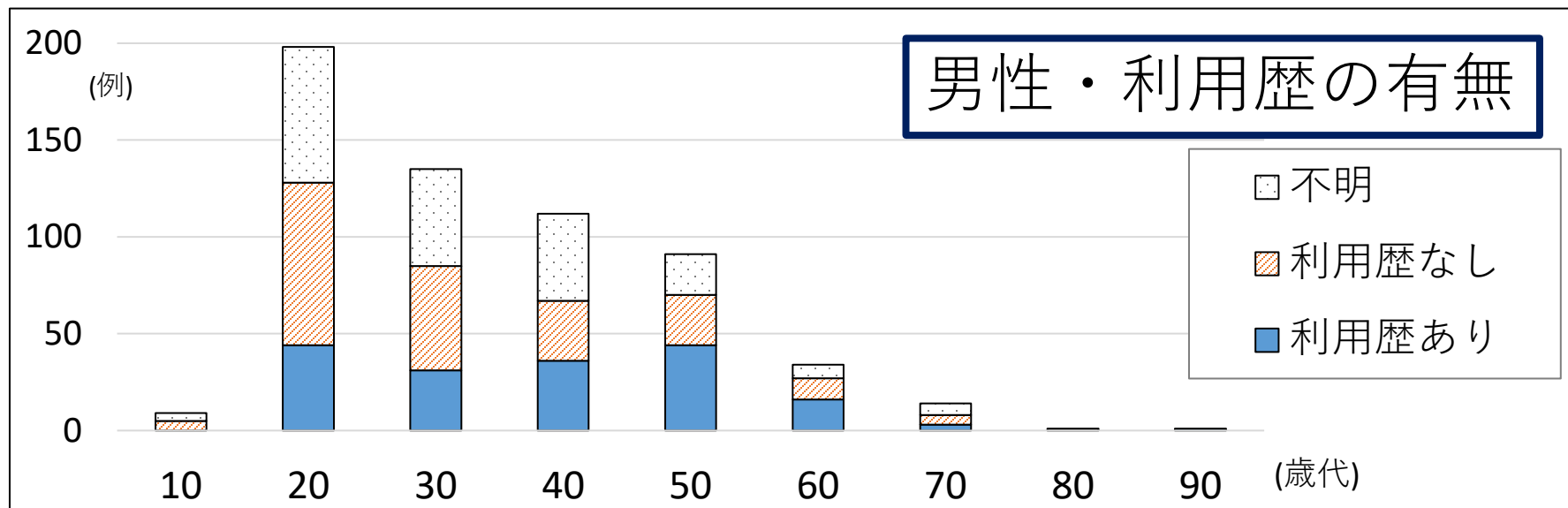
利用歴 男



従事歴 女

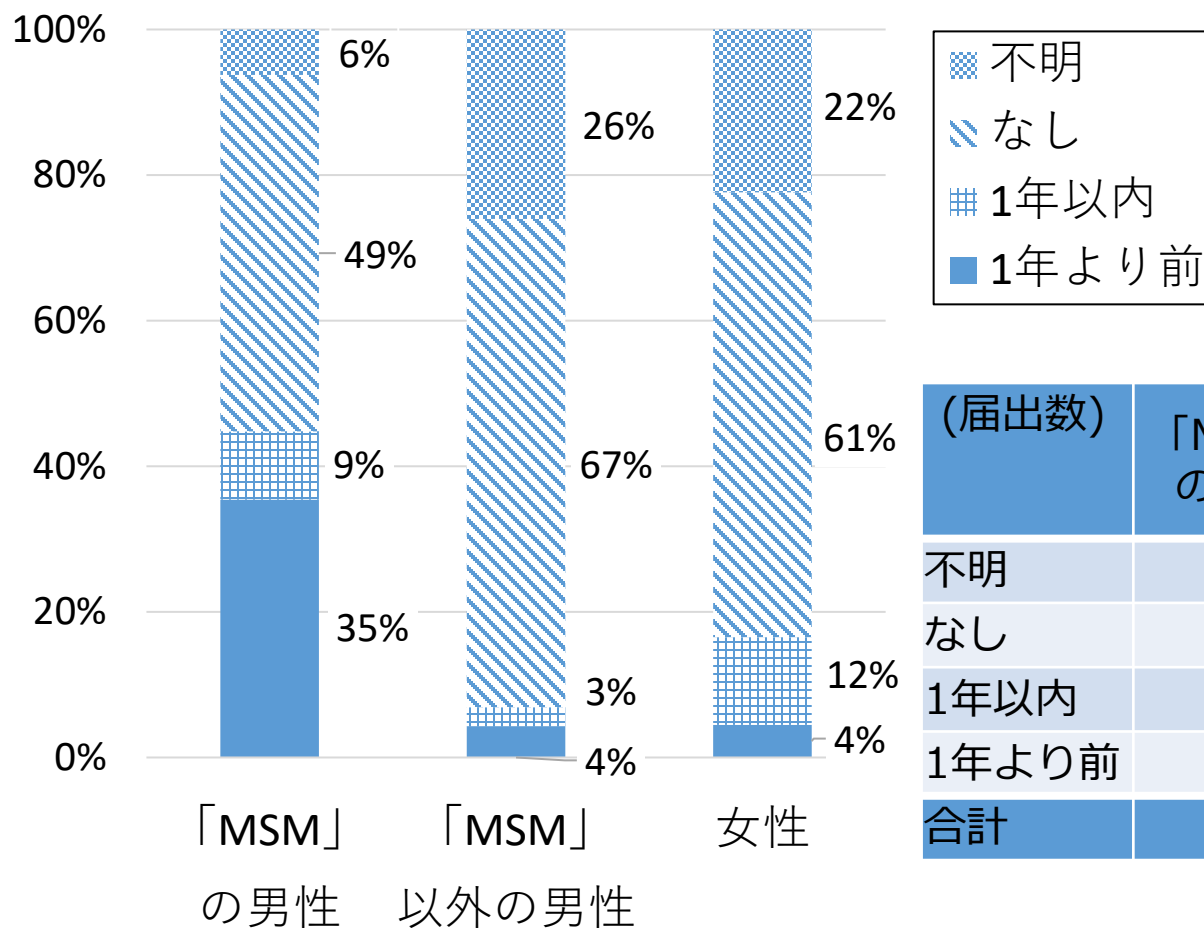


【性風俗産業】(直近6ヶ月以内の利用歴・従事歴) 男性・利用歴と女性・従事歴 年齢階級別比較



過去の梅毒治療歴

2023年

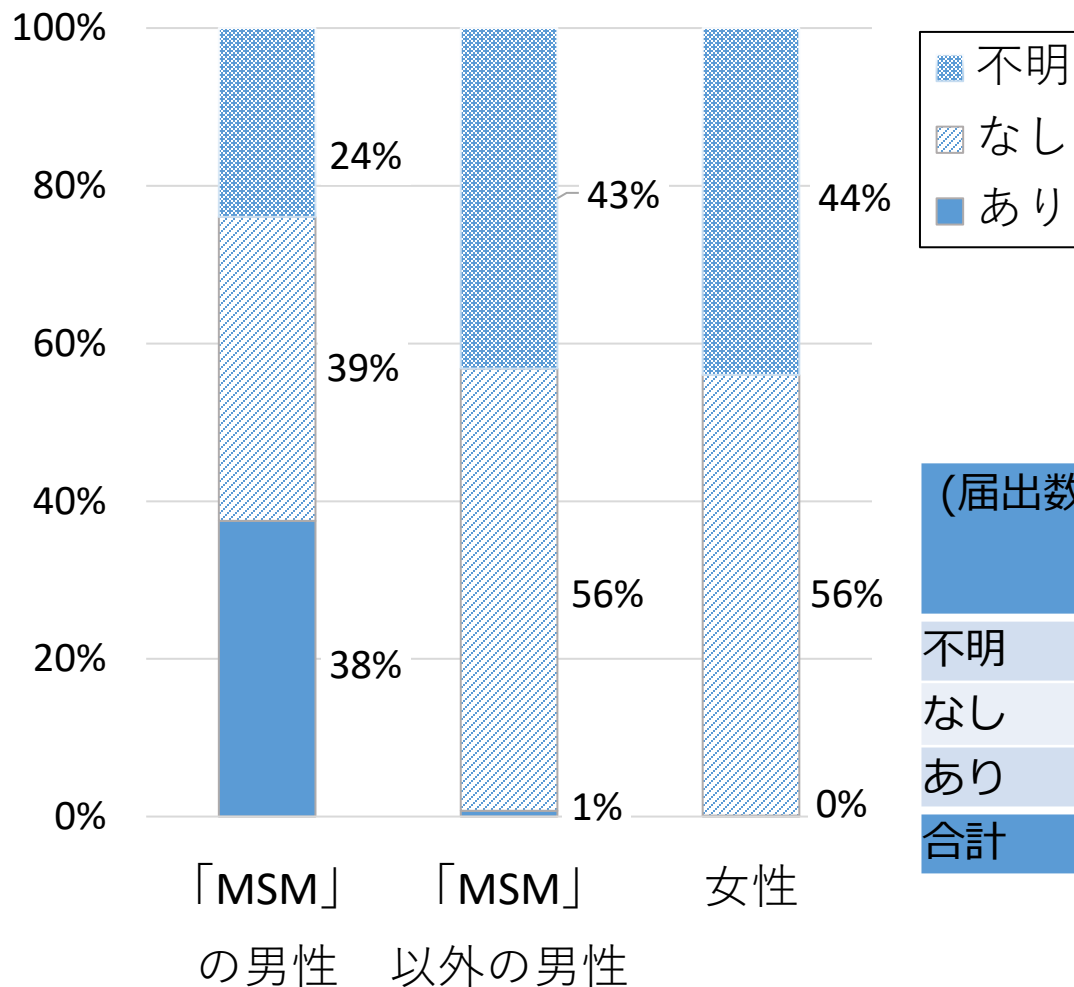


(届出数)	「MSM」 の男性	「MSM」 以外の男 性	女性
不明	6	170	186
なし	47	438	507
1年以内	9	17	100
1年より前	34	28	37
合計	96	653	830

※MSM：感染原因・感染経路において男性同性間の性的接触のもの

HIV感染症合併

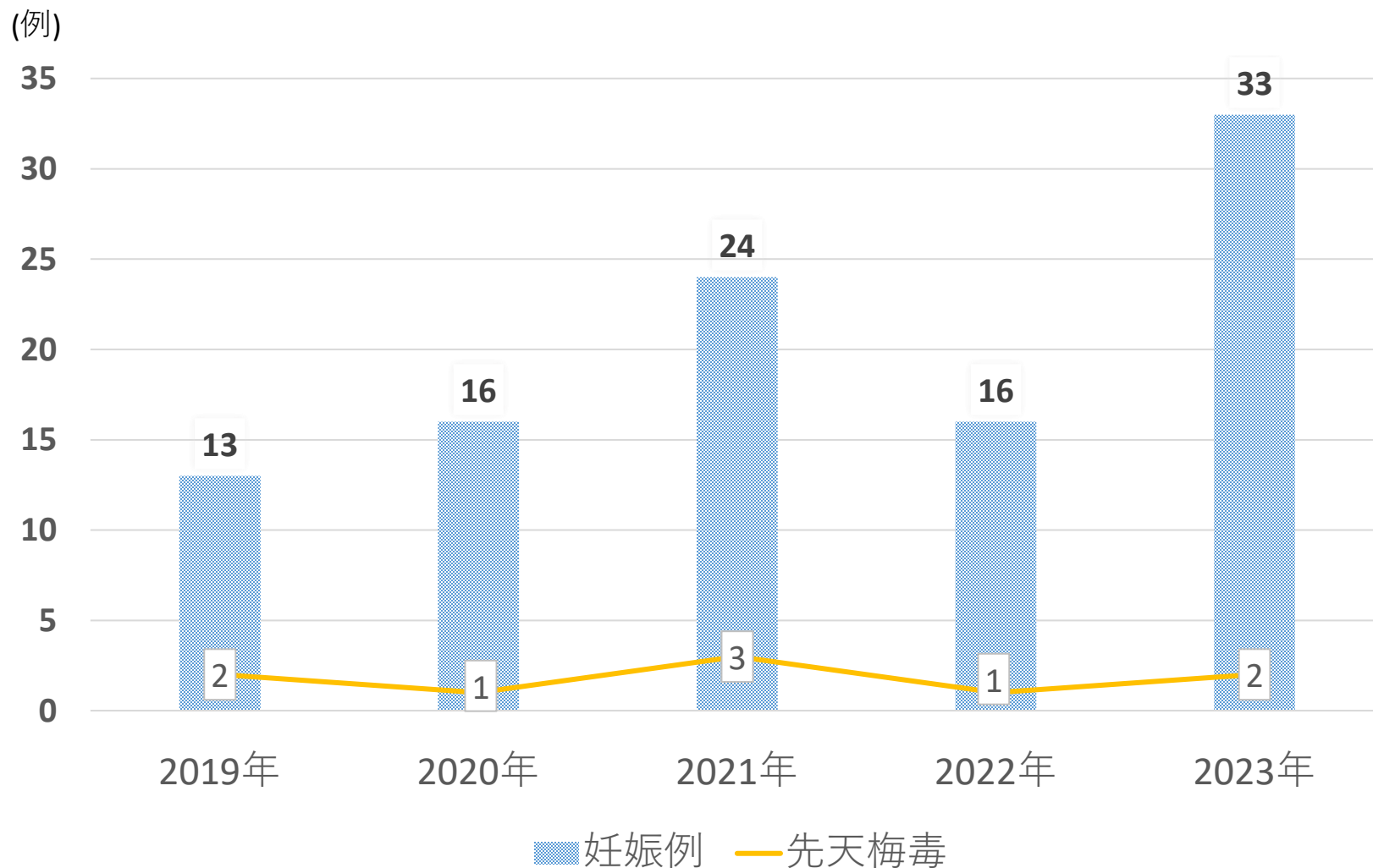
2023年



(届出数)	「MSM」 の男性	「MSM」 以外の男 性	女性
不明	23	282	365
なし	37	366	464
あり	36	5	1
合計	96	653	830

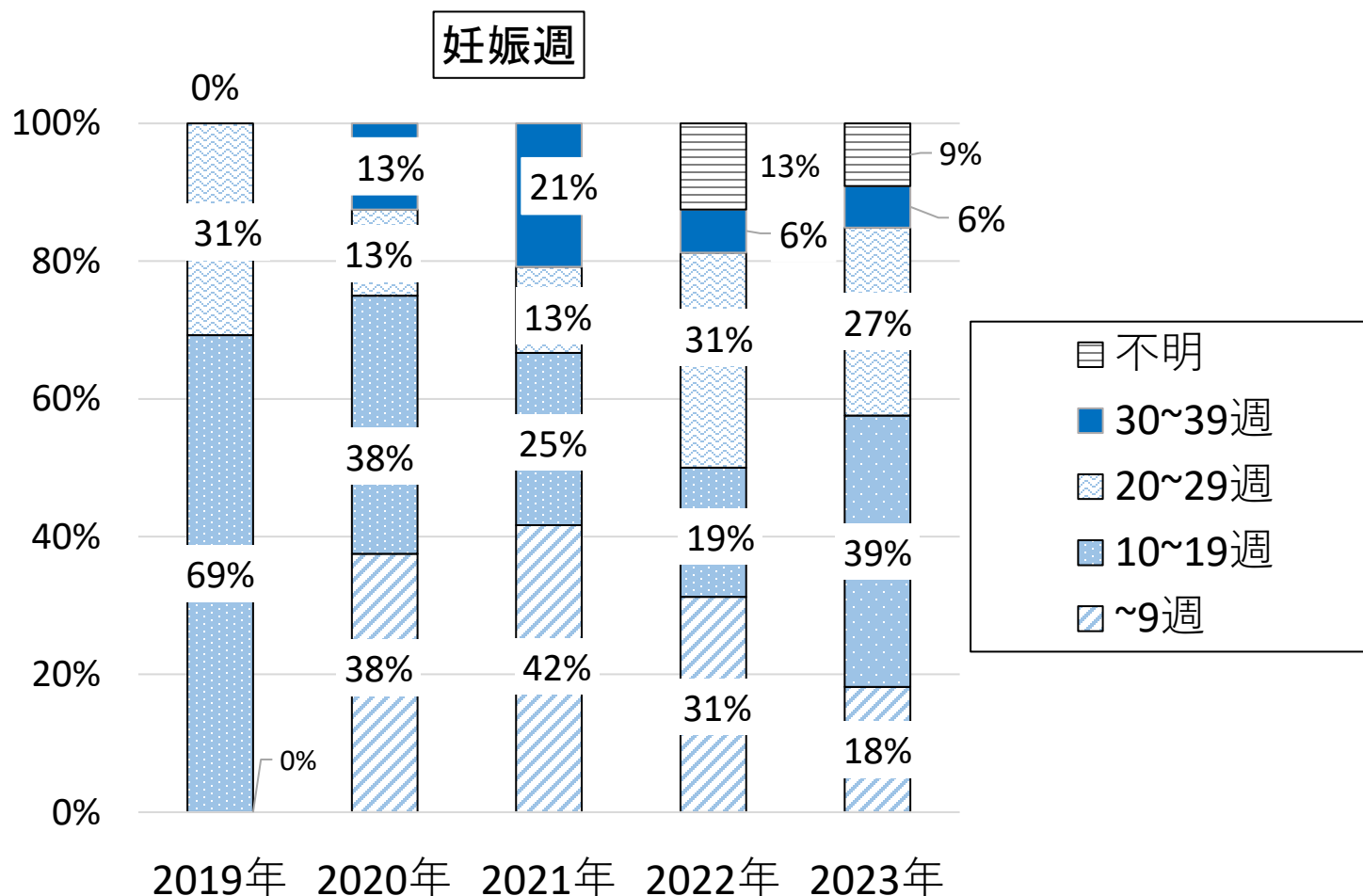
※MSM：感染原因・感染経路において男性同性間の性的接触のもの

妊娠例及び先天梅毒報告数推移



妊娠「有」

2023年	有	無	不明
従事歴（感染経路:性的接触）	13	13	2
過去の梅毒治療歴	3	27	3



2023年発生届出数上位医療機関

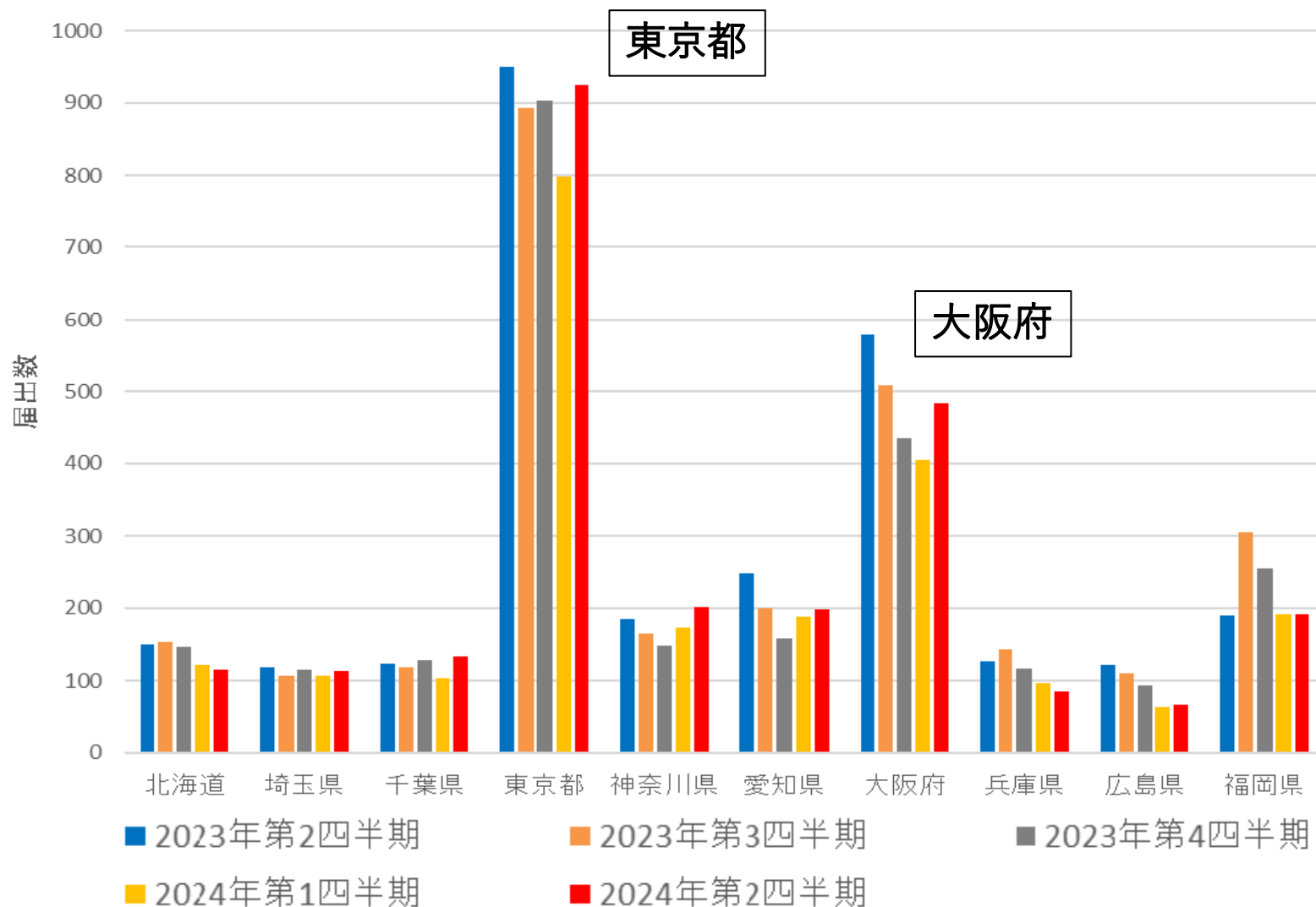
【男性】

	診療科	区	届出数
診療所A	泌尿器科	北区	98
診療所B	泌尿器科	都島区	67
診療所C	泌尿器科	中央区	65
診療所D	腎泌尿器科	西区	48
診療所E	婦人科・内科	中央区	38
病院A	-	中央区	29
診療所F	皮膚・形成外科	北区	26
診療所G	泌尿器科	都島区	23
病院B	-	東成区	22
診療所H	泌尿器科	北区	18

【女性】

	診療科	区	届出数
診療所E	婦人科・内科	中央区	231
診療所I	婦人科・内科	中央区	141
診療所J	婦人科・内科	北区	136
診療所K	婦人科	中央区	22
診療所L	婦人科	中央区	21
診療所M	婦人科	北区	17
診療所N	皮膚科	北区	12
診療所F	皮膚・形成外科	中央区	9
診療所O	婦人科	北区	8
診療所P	婦人科	中央区	8

都道府県別届出数(届出数上位10位を抜粋) 2023年第2四半期から2024年第2四半期

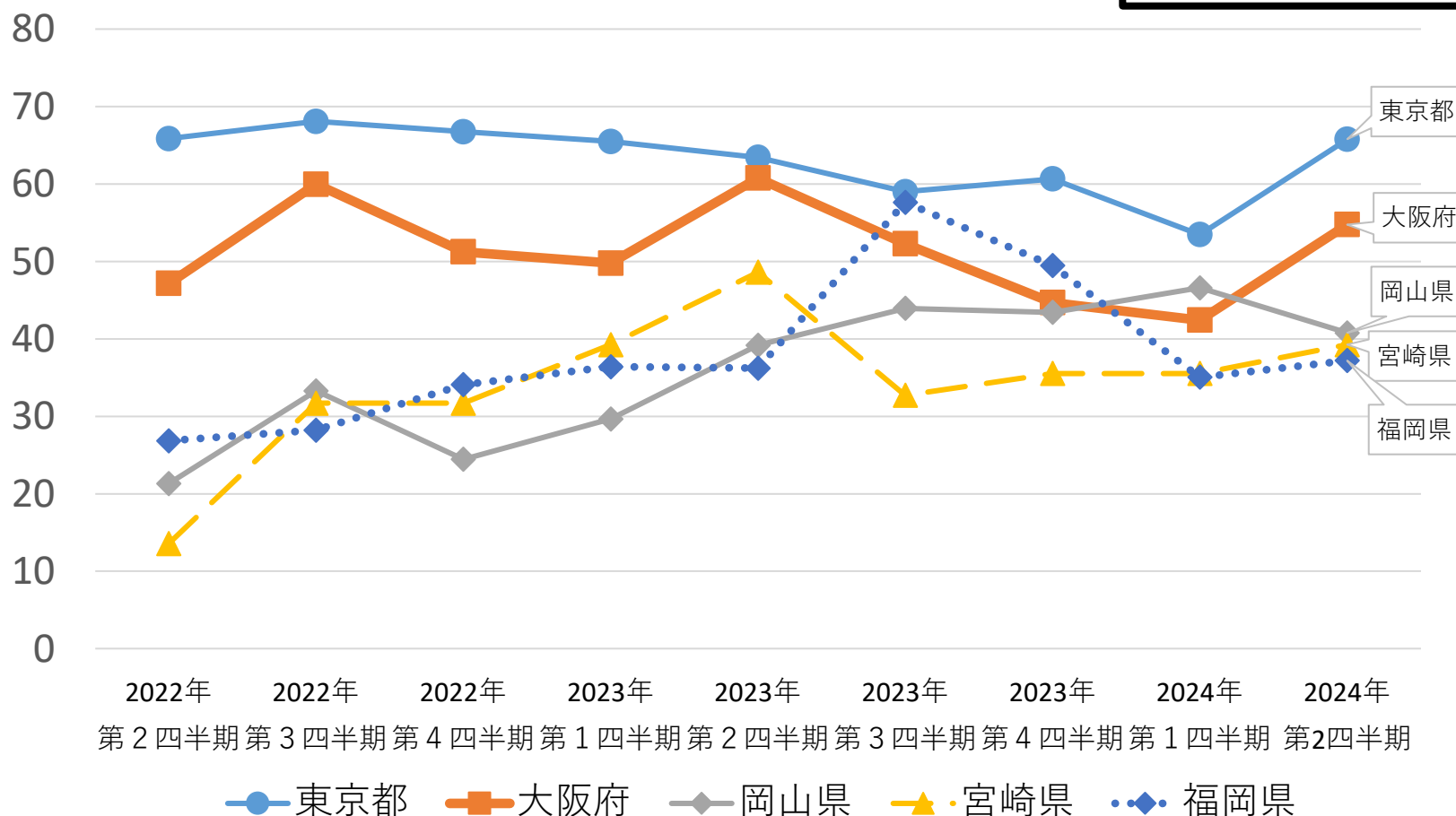


梅毒発生届出数の推移

(2024年第2四半期上位5都道府県を抜粋)

届出数(人口100万人対)

2024年第2四半期
人口100万人当たり
東京都65.8
大阪府54.8



大阪府内発生状況 2023年第2四半期から2024年第2四半期

